

令和6年度「常陸太田・ひたちなか保健医療福祉協議会」及び
「第3回常陸太田・ひたちなか地域医療構想調整会議」合同会議 会議録

- 1 日 時 令和7年3月6日（木）18時30分から20時まで
- 2 場 所 ひたちなか保健所（WEB会議として開催）
- 3 出席者 別添「出席者名簿」のとおり
- 4 令和6年度常陸太田・ひたちなか保健医療福祉協議会
 - （1）出席者の紹介
新任者3名について紹介した。
 - （2）常陸太田・ひたちなか保健医療福祉協議会会長・副会長の選任
協議会設置要綱5条により、会長に小野瀬委員、副会長に黒澤委員を選任した。
 - （3）議事
議長は、事務局に次の事項の説明を求め、事務局は会議資料に基づき説明を行った。
 - ・茨城県保健医療計画について
第7次保健医療計画の達成状況（R5最終評価）、第8次保健医療計画の目標設定状況について報告した。
- 5 令和6年度第3回常陸太田・ひたちなか地域医療構想調整会議
 - （1）定足数の確認
事務局司会（ひたちなか保健所副参事兼次長兼総務課長 坂場）は地域医療構想調整会議委員26名のうち、出席が23名、欠席が3名で地域医療構想調整会議設置要綱第7条第2項に規定する定足数に達したことを宣言した。
 - （2）出席者の紹介
名簿の配布をもって委員の紹介に代えた。
 - （3）会議の公開
事務局司会が本会議を公開することについて意見を求めたところ、意義なく承認された。
 - （4）会議録署名人の指名
会長は調整会議設置要綱第10条により、会議録署名人に黒澤委員及び荷見委員を指名した。

(5) 議事

議長は事務局に次の事項の説明を求め、事務局は会議資料に基づき説明を行い、質疑応答及び意見交換が行われた（別紙参照）。

●報告事項

- ・令和6年度第2回会議の会議録について

●協議事項

①常陸太田・ひたちなか地域医療構想の推進について

- ・常陸太田・ひたちなか構想区域の具体的対応方針について

事務局（案）を示し、今後の具体的対応方針（案）について合意された。

- ・地域医療提供体制データ分析事業について

オープンデータ等の分析結果について、筑波大学ヘルスサービス開発研究センターより説明し意見を求めた。

②令和6年度紹介受診重点医療機関の選定について

異論なく合意された。

以上をもってすべての議事が終了したので、議長は閉会の宣言をした。

上記を確認するため、会議録を作成し、会議録署名人が署名する。

令和7年 3 月 13 日

地域医療構想調整会議会長

1/1 野瀬好良

会議録署名人

黒澤 崇

会議録署名人

斎見 源成

令和6年度第3回常陸太田・ひたちなか地域医療構想調整会議

○委員名簿

	区分	氏 名	役 職	備 考
1	医師会	小林 肇	一般社団法人常陸太田市医師会 会長	副会長
2	医師会	黒澤 崇	一般社団法人ひたちなか市医師会 会長	
3	医師会	小野瀬 好良	一般社団法人那珂医師会 会長	会長
4	医師会	的場 政樹	一般社団法人茨城県水郡医師会 会長	
5	医師会	小林克男	一般社団法人珂北歯科医師会 会長	
6	薬剤師会	草野 朋子	常陸太田薬剤師会 会長	
7	看護協会	三本松 まゆみ	公益社団法人茨城県看護協会 常陸太田・ひたちなか地区理事	
8	病院協会	鈴木 直文	一般社団法人茨城県病院協会（医療法人聖友会理事長 慈泉堂病院）	
9	保険者	仲田 幸成	全国健康保険協会茨城支部 業務部業務グループ長	
10	福祉関係団体	中村 正美	社会福祉法人東海村社会福祉協議会 会長	
11	介護事業者	菊池 義	社会福祉法人ナザレ園 理事長	欠席
12	住民代表	鴨志田 幸司	一般社団法人日本介護支援専門員協会茨城支部那珂・太田合同地区会 会長	
13	市町村	大谷 明	ひたちなか市 市長	欠席
14	市町村	鈴木 定幸	常陸大宮市 市長	欠席
15	保健所	金本 真也	茨城県ひたちなか保健所 所長	
16	基幹病院等	小島 正幸	社会福祉法人恩賜財団済生会支部茨城県済生会 常陸大宮済生会病院 院長	
17	基幹病院等	石井 幸雄	独立行政法人国立病院機構 茨城東病院 院長	
18	基幹病院等	荷見 源成	医療法人貞心会 西山堂病院 院長	
19	基幹病院等	吉井 慎一	株式会社日立製作所 ひたちなか総合病院 院長	
20	基幹病院等	手島 研作	医療法人すこやか 母と子の病院 理事長	
21	基幹病院等	大山 祥	医療法人大修会 大山病院 院長	
22	基幹病院等	鈴木 邦彦	医療法人博仁会 志村大宮病院 院長	
23	基幹病院等	小豆畑 丈夫	医療法人社団青燈会 小豆畑病院 院長	
24	基幹病院等	小松 満	医療法人薫光会 小松整形外科医院 理事長	
25	学識経験者	片岡 秀樹	常陸大宮市消防本部 消防長	
26	学識経験者	前野 哲博	筑波大学医学医療系地域医療教育学教授	

令和6年度常陸太田・ひたちなか保健医療福祉協議会 委員名簿

委嘱期間：＊は令和7年2月15日～令和9年2月14日
他の委員は令和5年12月1日～令和7年11月30日まで

No.	区 分	役 職	氏 名	備 考
1＊	県 議	茨城県議会議員	海野 透	欠席
2＊	県 議	茨城県議会議員	石井 邦一	
3	市町村長	ひたちなか市長	大谷 明	欠席
4	市町村長	常陸大宮市長	鈴木 定幸	欠席
5	警 察	ひたちなか警察署長	梶山 志信	新任 / 欠席
6	消 防	常陸大宮市消防本部消防長	片岡 秀樹	
7	医 師 会	常陸太田医師会長	小林 肇	
8	医 師 会	ひたちなか市医師会長	黒澤 崇	
9	医 師 会	那珂医師会長	小野瀬 好良	
10	医 師 会	水郡医師会長	的場 政樹	新任
11	歯 科 医 師 会	珂北歯科医師会長	小林 克男	
12	薬剤師会	常陸太田薬剤師会長	草野 朋子	
13	看護協会	茨城県看護協会常陸太田・ひたちなか地区理事	三本松 まゆみ	
14	病 院 長	社会福祉法人恩賜財団済生会支部茨城県済生会 常陸大宮済生会病院長	小島 正幸	
15	病 院 長	独立行政法人国立病院機構 茨城東病院長	石井 幸雄	
16	介 護 事 業 者	社会福祉法人豊潤会 特別老人ホームゆたか園 施設長	山田 祐治	欠席
17	食品衛生協会	常陸大宮食品衛生協会会長	石井 隆之	欠席
18	食生活改善	ひたちなか保健所管内食生活改善推進協議会長	平山 智子	新任 / 欠席
19	社会福祉協議会	社会福祉法人 東海村社会福祉協議会長	中村 正美	
20	民生委員児童委員	那珂市連合民生委員児童委員協議会長	秋葉 泉	
21	住民代表	茨城県介護支援専門員協会那珂・太田合同地区会長	鴨志田 幸司	
22	住民代表	ひたちなか市ボランティア連絡協議会長	小林 恵理子	欠席

令和6年度第3回常陸太田・ひたちなか地域医療構想調整会議意見要旨

日 時 令和7年3月6日(木) 18時30分から20時

開催方法 WEB 会議 (Webex)

●協議事項

(1) 常陸太田・ひたちなか地域医療構想の推進について

ア 常陸太田・ひたちなか構想区域の具体的対応方針について

(小野瀬会長)

常陸太田・ひたちなか構想区域の具体的対応方針(様式Ⅲ・別紙)については、事務局(案)のとおり、当調整会議として医療政策課あて報告してよろしいか。

(委員)

異論なく合意

イ 地域医療提供体制データ分析事業について

オープンデータ等の分析結果について、筑波大学ヘルスサービス開発研究センターから説明し、今後どのようなデータ等が必要か意見をいただいた。

(小豆畑委員)

心筋梗塞や三次救急については水戸に行くのは致し方ない。心臓カテーテル患者を当医療圏で受入れるべきとすべきなのか。慢性期や訪問診療は地元で診た方が良い気がするが、うちの医療圏は何をすべきなのかわからない。我々が頑張らなければいけない具体的なことがわかればと思う。

(金本委員)

患者がどのように動いているのか、市町村ごとにデータを出すことはできるのか。

(筑波大学 渡邊准教授)

オープンデータでは難しいが、レセプトデータなら市町村毎など任意の単位で分析することは可能である。

(金本委員)

動向がざっくりしているので、例えば、常陸大宮の虚血性心疾患患者は水戸にかなり移動している等がわかれば、常陸大宮は何に力を入れるべきか、小豆畑委員の疑問点ははっきりするのかと思う。

(黒澤委員)

水戸医療圏に救急搬送して助かればいいが、大子から水戸に搬送することで予後が明らかに悪いのであれば、地域で対応を考えなければならない。入院後のデータで、例えば死亡率などを出すことは可能か。それらのデータがわかれば、医療の必要度に繋がってくるのではないかと思う。

(渡邊准教授)

レセプトデータでデータを出すことは可能。また、搬送時間は茨城県の救急データを用いたら可能である。

(小島委員)

心筋梗塞、心臓疾患などは、ひたちなか総合病院や水戸済生会病院に行く方が早かったり、行きやすい場合もある。医療圏の中で完結しなければならないとなると違うかなと思う。

(渡邊准教授)

患者・病院によっては、隣の医療圏が近いということはある。あくまで過不足を示す一面であって、議論の参考にしていきたい。

(的場委員)

大子町は栃木の医療機関にも近く、地域性を一括りにされるとデータとしては粗いように感じる。距離・時間的に予後がどうなっているのかは、今後の計画において必要じゃないかと思う。

(鈴木委員)

各医療機関で求められていくことがある中で、北部は高齢化率が高い。高度医療をどこで診ていくか。新たな地域医療構想で出てきた機能分化の連携が進んでいけばいいのではと思う。

(吉井委員)

ざっくりとわかっていたことがいたことが数値化された。当医療圏に大きな病院を増やすことは今後ない。各医療機関の機能(役割)を十分に活用した中で、3医療圏、広域医療圏で連携をとっていこうとの県の意見である。当医療圏はいびつな地域で、北から南で実情が違う。慢性期等の住民が安心して暮らせるためにどうしたら良いか。広域医療圏の中で言っていこうと思う。当医療圏で何を増やす減らすということではないのかなと思う。

(小野瀬会長)

医療圏でどのようなことができるのか、データを参考に考えたい。病院のデータだけではなく診療所レベルでも出してほしい。当医療圏では慢性期等の患者をどのように引き受けられるかが重要と思う。参考にして地域でも頑張っていきたい。

(2) 令和6年度紹介受診重点医療機関の選定について

(小野瀬会長)

令和6年度紹介受診重点医療機関の選定については、事務局(案)のとおり、当調整会議として医療政策課あて報告してよろしいか。

(委員)

異論なく合意

(鈴木委員)

令和7年度からかかりつけ医報告制度が始まるが、紹介受診重点医療機関でありながらかかりつけ医療機関であることは可能なのか、県で整理しておいていただいた方がスムーズかと思い意見しておく。

以上